

2. 経営方針

「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランド・メッセージとする「九州電力の思い」は、「これからも変わることなく安定した電力・エネルギーをしっかりお届けする」という当社の社会的使命や責任を示したものです。

当社は、その使命を変わず果たし続けていくために、平成21年3月に長期経営ビジョン及び中期経営方針を策定し、中長期的な経営の方向性を定め、事業活動を進めてまいりました。

そうした中、先の東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故は、我が国の経済・社会に甚大な被害を及ぼし、基幹電源である原子力を含めたエネルギー政策の方向性などを議論する契機となりました。また、ライフラインである電力が停電することによる社会的影響の深刻さについて、改めて強く認識されることとなりました。

当社としては、まずは、玄海・川内両原子力発電所において、緊急安全対策をはじめとする取組みを着実に実施するとともに、今後、新たな対策が必要になれば、適切に対応してまいります。また、電力供給設備全般について、安全確保に万全を期し、電力の安定供給に努めてまいります。